

編集：中央区教育委員会
〒104-8404 東京都中央区築地一丁目1番1号
☎(3546) 5503

P.3 月島幼稚園開園90周年記念式典

P.3 中学校英語体験学習

P.4 中央区成人の日記念式典「新成人のつどい」

P.4 中学生が一日税務署長に

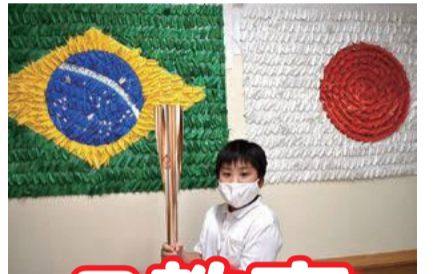
かみどりやま



▶実際に聖火リレーに使用されたトーチを手に目を輝かせる園児たち（日本橋幼稚園）



▼折リ鶴で作成した国旗
ブラジルオリンピック委員会の拠点となった豊海小学校・豊海幼稚園では、子どもたちが「二校一国運動」として、ブラジルについて学びました。
◀ブラジルオリンピック委員会（園）舎で装飾された校（園）舎



特集
P1~2

中央区のオリンピック パラリンピック教育

▶パラリンピックをテレビ観戦し、選手たちを応援!!（久松幼稚園）



浜町公園で行われたオリンピック聖火リレー点火セレモニーに、児童・生徒が参加しました。



▲有馬小学校ダブルダッチクラブ（映像で参加）



▲銀座中学校3年庭崎敬さん（聖火ランナー）

世界で活躍するアスリートから、夢や目標を持つことやそれに向かって努力することの大切さについて、直接お話を伺う貴重な経験ができました。

▲元女子競輪選手の高松美代子さんによる講演（宇佐美学園）



▲日本橋中学校吹奏楽部（映像で参加）



▲体操女子床銅メダリスト村上茉愛さんからマット運動の指導（夢・未来プロジェクト：日本橋小学校）



▲警視庁月島警察署勤務のパラリンピアン大山晃司選手によるアーチェリーの実演（月島第三小学校）



▶大会レガシーとしてオリンピック・パラリンピックコーナーを掲示（銀座中学校）

中央区教育委員会では、東京2020大会および大会後のレガシーを見据え、平成27年度から「オリンピック・パラリンピック学習」「ハートフルスポーツ（共生社会に貢献する態度とボランティア精神の育成）」「中央区版『一校一国運動』を通じた学習」「体力向上」の4つの取組を中心に、オリンピック・パラリンピック教育を実施してきました。

次ページで、今年度の学習内容をご紹介します。



オリンピック・パラリンピック教育特集

オリンピック・パラリンピック学習

オリンピック・アゴラ^{*1}への参加



東京2020大会のメダルを含む夏季大会のメダルやトーチ、衣装や映像を通して、オリンピック・パラリンピックスピリッツを体験しました。

常盤小学校

ふくのわプロジェクト^{*2}への参加



不要になった衣服の回収を学校全体に呼びかけ、令和2年度は105kgの衣服が集まりました。収益金はパラスポーツ競技団体へ寄付されました。

佃中学校

*1 オリンピック・アゴラ…オリンピック文化遺産財団主催の、アート・カルチャー・スポーツを融合させ、オリンピック精神や価値を伝える文化イベント *2 ふくのわプロジェクト…産経新聞社主催による衣服のリユースを進める活動 *3 サイニングストア…聴者と聴覚に障害のあるパートナーが共に働き、多様な人々が自分らしく過ごし、活躍できる居場所の実現を目指した店舗

ハートフルスポーツ

(共生社会に貢献する態度とボランティア精神の育成)

手話教室



地域の外部講師を招き、幼児に親しみのある言葉や歌の手話を楽しみながら教えていただきました。5歳児は、教えていただいた手話ソングを保護者に披露しました。

京橋朝海幼稚園

交流授業



スターバックスコーヒージャパン「サイニングストア^{*3}」で働く、聴覚に障害のある方とリモートで交流を行い、働き方や手話を活用したコミュニケーションの図り方を学びました。

中央小学校

中央区版「一校一国運動」を通じた学習

国際理解教室(インドネシア共和国)



東京外国語大学インドネシア舞踊部の方を講師に招き、インドネシア舞踊を観たり、一緒に踊ったりして、文化に触れることができました。

月島幼稚園

ベトナム選手を応援しようプロジェクト(ベトナム社会主義共和国)



東京日本橋ロータリークラブ、東京シティ日本橋ロータリークラブの協力をいただき、選手に向けて応援メッセージ動画を作成しました。

日本橋中学校

体力向上

投げ方教室



保護者であり元プロ野球選手(投手)を講師に招き、ボールの投げ方を教えていただくとともに、ボールを使った遊びを行いました。

久松幼稚園

バスケットボール教室



女子プロバスケットボールチーム「東京羽田ヴィッキーズ」を講師に招き、シュートやパスなど基本的な動きを教えていただきました。

有馬小学校

～アサガオおもてなしプロジェクト～

種から育てたアサガオ(泰明小学校)



選手村に飾られたアサガオ



アサガオのつるで作成したリース



各国選手団へのおもてなしとして、区内小学校16校の児童が育てたアサガオ600鉢が選手村宿泊棟の通路に設置されました。この取組はオフィシャルパートナーのアース製薬株式会社から種や土などの栽培キットを提供いただき、実施したものです。直接的な交流はできませんでしたが、間接的に選手の方々に「おもてなし」の気持ちを届けることができました。海外の選手がアサガオに興味をもち、選手村ボランティアに、花の名前や育てた人について尋ねたそうです。

東京2020大会終了後、学校に返却されたアサガオのつるを活用して、リース作りをした学校もありました。このリースも心に残るレガシーの一つとなりました。

これからの取組 『学校・幼稚園2020レガシー』

オリンピック・パラリンピック教育の取組により、多様な価値観をもつ人々と「協力・協働しながら問題解決する力」、誰とでも「積極的にコミュニケーションを取る力」、自分のアイデンティティをしっかりと「豊かな国際感覚で対応できる力」を身に付け、文化の違いや障害の有無などに関わらず、あらゆる人々が互いの人権を尊重し合い、共に力を合わせて生活する共生社会の実現に寄与できる人材の育成を目指してきました。

これまでの取組のうち、学習効果が高い取組や特色のある活動を、「学校・幼稚園2020レガシー」として、地域・家庭と連携を図りながら継続して実施していきます。

月島幼稚園開園90周年記念式典 令和3年11月20日挙行

月島幼稚園開園90周年を祝う記念式典が、昨年11月20日に執り行われました。

式典では、映像「月島幼稚園の歴史」や、出席した年長組の園児による「喜びのことばと歌」が披露されました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、規模を縮小しての開催となりましたが、90年という幼稚園の長い歴史と伝統を感じるとともに、記念すべき日を迎えられる喜びと感謝の気持ちを感じ取ることができました。

記念式典後のアトラクションでは、全園児による音楽に合わせたリズム表現やバルーン演技が披露されました。園児一人一人が「90歳おめでとう」の気持ちを込めて精いっぱい表現する姿に、出席者のみなさんから温かい大きな拍手をいただきました。



中学校英語体験学習

区立中学校2年生を対象に、江東区にあるTOKYO GLOBAL GATE-WAY (TGG)において、英語体験学習を実施しました。TGGでは、海外にいるような空間の中で「英語漬け」の環境が体験できます。生徒たちは、食料品の購入やイベントの参加申込みなど日常生活をイメージした英語コミュニケーションにチャレンジし、英語を使用する楽しさを学びました。



実施日

日本橋中学校	9月7日(火)	銀座中学校	12月16日(木)
晴海中学校	12月9日(木)	佃中学校	12月16日(木)

PTA連合会と教育委員会との意見交換会

2月8日(火)に、中央区PTA連合会が教育委員会との意見交換会をオンラインで開催しました。

今年度は「子どもの心の育て方(他者への思いやりやコミュニケーションについて)」をテーマに、グループに分かれ意見交換を行いました。

他者への思いやりの心を育むために学校で行っている道徳教育の実例、家庭でのコミュニケーションや心の成長のために取り組んでいることなどについて、活発な意見交換が行われ、家庭、地域、学校が協力して子どもの心を育てていくことの大切さを再確認する機会となりました。



▲オンラインでPTAの方々と意見交換を行う平林教育長

「あふれる自然に春の訪れ」 柏学園を開放!

桜の咲く時期に区民の皆さまに開放している柏学園は、中央区から電車で約1時間、緑豊かな自然に囲まれた校外学園です。

春を迎えると、柏学園の庭では、暖かな陽気に誘われ草木が芽吹き、花を咲かせ始めます。

春いっぱいの柏学園へ、ぜひお越しください。

日時 3月下旬または4月上旬の土曜日・日曜日を予定

※桜の開花状況により変更する場合があります。

※新型コロナウイルス感染症の状況により中止する場合があります。

詳細は、広報紙「区のおしらせ 中央」(3月21日号)および区ホームページにてお知らせします。

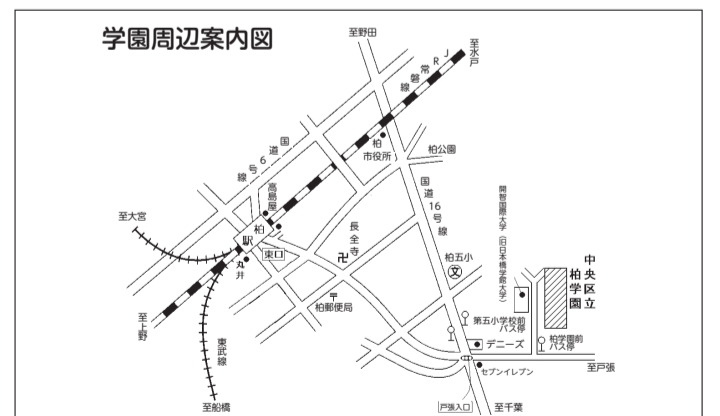
会場 柏学園(千葉県柏市柏1236-1) ※学園周辺案内図参照

交通機関 JR 柏駅東口下車、徒歩25分

◎柏駅からバスを利用する場合は、阪東バス「戸張」行「柏学園前」下車徒歩5分、または「大津ヶ丘団地」行「第五小学校」下車徒歩10分

※ご来園の際は、公共交通機関をご利用ください。

問合せ先 学務課保健給食係 電話 (3546) 5515



教育委員会の主な活動状況 (令和4年1月11日~令和4年3月10日)

- | | |
|--------------------------------|------------------------------|
| ◆第1回定例会および研修会 1月12日(水) | ◆第2回定例会および研修会 2月2日(水) |
| ◆教育会研究発表会・幼稚園 1月17日(月) 教育センター | ◆佃中学校研究発表会 2月4日(金) 佃中学校 |
| ◆教育会研究報告会・中学校 1月19日(水) 教育センター | ◆教育委員会とPTA連合会との意見交換会 2月8日(火) |
| ◆月島第二幼稚園研究発表会 1月26日(水) 月島第二幼稚園 | |

中央区成人の日記念式典「新成人のつどい」



1月10日(祝・月)にロイヤルパークホテルで成人の日記念式典が開催されました。式典当日の区内新成人は878名で、今年は新型コロナウイルス感染防止のため地域を分け、午前と午後の2回開催としました。会は二部構成で第一部の記念式典では、中学校の生徒による合唱から始まり、続いて新成人代表で新成人のつどい実行委員がメッセージを述べました。第二部の「新成人のつどい」では、新成人が企画した、クイズ大会や会場に来られない恩師からのビデオメッセージなどのアトラクションを実施しました。友人との再会を喜びあうなどして、20歳の門出をともにお祝いしました。

令和3年度羽根-1グランプリ

1月8日(土)に区立総合スポーツセンターで、区内の小学4年生以上の男子40名女子26名、計66名の選手が参加し、予選リーグと決勝トーナメントをあわせた形式で行われました。

この「羽根-1 グランプリ」とは、コロナ禍の中でも三密を回避しながら安全に楽しめるイベントとして、令和2年まで毎年恒例で行われていた「新年子ども羽根つき大会」を、学校対抗から個人戦とした代替イベントです。

どの選手も正々堂々、ベストを尽くし、熱戦が繰り広げられました。真剣勝負の末、男子の部は明正小学校6年金子陽向さん、女子の部は城東小学校6年久保黎華さんが羽根-1 グランプリ優勝の栄冠を勝ち取りました。



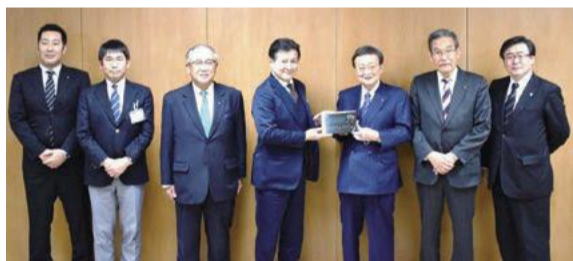
東京中央ロータリークラブからCO2モニターをいただきました

1月27日(木)に区役所でCO2モニターの贈呈式が行われ、東京中央ロータリークラブの皆さまから教育委員会に、108台のCO2モニターが寄贈されました。

寄贈されたCO2モニターは、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどの感染対策として、全小中学校の各学年に1台ずつ配布し、児童・生徒に換気の重要性を視覚的に認識させ、教室内の適切な換気を促していきます。



▲寄贈されたCO2モニター



▲贈呈式

りんごをいただきました

11月25日(木)に山形県東根市から特産であるりんごのプレゼントが区立幼稚園の5歳児に届きました。真っ赤なりんごを受け取った園児たちは、嬉しそうに満面の笑みを浮かべていました。

また、東根市果樹研究連合会からりんごや東根市について紹介するリーフレットもいただきました。担任の先生からの説明を聞いた園児たちから「りんごってどうやってできるの?」「東根市ってどこにあるの?」など、たくさんの質問の声があり、興味津々の様子でした。



中学生が一日税務署長に

12月20日(月)に京橋税務署、12月21日(火)に日本橋税務署にて、「中学生の『税についての作文』」において優秀賞や税務署長賞などを受賞した区内の中学生が、一日税務署長として「税に関するPR」を行いました。

生徒たちは、税務署長から委嘱状の交付を受け、署長業務体験や署内視察、署長訓示、税務署幹部との歓談、報道関係者からのインタビューへの対応などを行い、税の役割やその公共性、重要性を学びました。

署長業務体験では、名刺交換や署長席に実際に座り模擬決裁を行いました。歓談の際に感想を聞かれ、「署長席に座り責任の重大さを感じ大変緊張しましたが貴重な経験ができて楽しかった」と笑顔で話していました。

また署長訓示として、大勢の税務署職員の前で自身の作文を少し緊張した表情でしたが、堂々と朗読しました。

中学生の「税についての作文」応募事業は、次世代を担う中学生の皆さんに、身近に感じた税に関すること等を書くことで税について関心を持ち、正しい知識と理解を深めていただきたいという趣旨のもと、全国納税貯蓄組合連合会と国税庁の共催で行われ、毎年中央区の中学校全校から応募されています。



京橋税務署

▲京橋税務署(左から晴海中学校山下智子さん、銀座中学校志田璃花さん、佃中学校塚本みかさん)



日本橋税務署

▲日本橋税務署(左から開智日本橋学園中学校マナカラビハンシさん、日本橋中学校仲田早希さん)